

循環型社会を目指したまちづくり
京田辺エコパークかなび



活動の目的と経過

- ▶ 平成18年3月 京田辺市のリサイクルプラザ館を拠点に3Rの諸活動を行う「市と市民が一体となったボランティア組織」を作るため京田辺市が会員を募集
- ▶ 平成19年5年 京田辺エコパークかんなび 設立
リユース展示場開設（会員30余名）
- ▶ 平成23年6月 新田辺東商店街に「きらら店」出展



本・食器等 10円～
洋服 100円
家具 500円～
電化製品などは、一部受取制限があります。

京田辺市が施設を無償で貸与し、市民から提供を受けた不要品について点検・修理を行い、安価で市民に提供するリユース活動。

3R活動推進のための、市民向け講座。
子ども達対象のもったいない子どもポスター展開催など。

施設の下準備、市民への情報提供などスタート時は大変でしたが、市民にも満足いただける充実した事業に成長

1

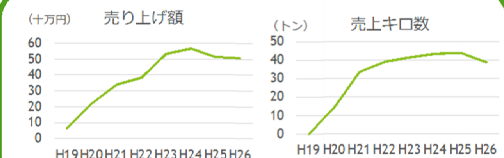
京田辺エコパークかんなびの活動拠点

活動拠点



活動内容と活動成果

- ▶ 京田辺エコパークかんなび
 - ▶ 来場者 年間 27,980人（平成26年度）
→ 1ヶ月平均で2,300人を超える来場者。
来場者は年々増加。
 - ▶ 売り上げ 年間 507万円（平成26年度）
 - ▶ エコ効果 年間 39トン（平成26年度）



- ▶ 売上は、太陽光発電（H21:300万円）や東日本大震災復興（H23:350万円）に寄付

2

その他の活動

- ▶ 小学4年生児童の施設見学にあわせた「体験教室」の開催
- ▶ 「もったいない」子どもポスター展の開催（市内小学校全校）
- ▶ 京都府主催の「京都府環境フェスタ」などのイベントへの参加
- ▶ 新田辺東商店街の「キララフェスティバル」などのイベントへの参加
- ▶ 市民向け講座「もの作り教室」開催
・・・など、さまざまな活動を
活発に行っています。

子ども達も会員も生き生き！



今年のポスター展は690名の作品が集まりました。
優秀3作品はシートにしてパッカー車に搭載しています。

3

エコパークの予算について

エコパークかんなびの運営は、市から1円の補助金も受けていません。
交通費や、会議のお茶代や、事務用品など、そういう事業に市からの予算をまったく受け取っていないということです。

市から受けているのは、

- ① リユース活動の施設を貸与（空き店舗借上分の経費も含みます）
- ② 協働事業として、職員を配置

今後の課題

- ▶ ボランティア会員の高齢化
 - ・会員数は順調に増加しているが、スタートから8年が経過していることもあり、高齢化が進んでいることから、今の体制を継続していくことが課題
 - ・重い家具などの運搬などの取り扱い
- ▶ 新たな来館者の開拓

今後の展望

- ▶ ホームページや機関誌の充実を図り、広く市民に3Rの推進
- ▶ 小学生の体験学習、ポスター展など環境教育を通じて「もったいない！」の啓発
- ▶ 活動内容を高評価されることにより、市民に3Rの環を拡大
- ▶ 他市からの視察が多いため、全国で本会のように市民が行政と協働で3Rに取り組む活動が広がることを期待

4